

本日の例会（第2360回）
平成31年2月5日(火)
予 定 行 事



★お誕生日のお祝い

大和 健司 会員（83歳）

十河 元生 会員（79歳）

★卓 話 テーマ「JCと私」

卓話者：古市 仁 会員

略 歴：入会年月日：1981年9月1日

生年月日：1936年10月23日

職 業：トクシュ技研㈱ 代表取締役社長

職 業 分 類：機械製造

ロータリーでの活動歴

1985～'86年度 第17代 幹事

1991～'92年度

ロータリー情報委員長

1993～'04年度 会員選考委員長

1997～'98年度

会員増強委員長

2000～'02年度 社会奉仕委員長

2002～'03年度

会員選考副委員長

2003～'05年度 規定・情報副委員長

2005～'07年度

社会奉仕副委員長

2007～'08年度 青少年活動委員

2008～'10年度

社会奉仕委員

2010～'11年度 国際奉仕委員

2012～'14年度

学生交換特別委員会

2014～'15年度 青少年奉仕委員

2015～'16年度

国際奉仕委員

2017～'19年度 青少年奉仕委員

趣 味：フェンシング・野球・旅行

★定例理事会⑧ 13：45～ 事務局（理事会構成メンバー）

大阪香里自動車教習所の『安全運転管理支援』について

去る1月29日の卓話においては、我々が取組んでいる『安全運転管理支援』事業についてご清聴ありがとうございました。

なかなか30分ではお伝えする事ができず舌足らずとなってしまいましたが、webページに詳しく掲載しておりますので是非ご参照下さい。

<https://www.kouri-sdas.com/>（または「原点回帰講習」で検索して下さい）

要点としましては、交通事故の防止により、

- ・本業の「生産性」がアップする
- ・社員の業務に取り組むモラルがアップする

といった社員の業務全般に対する意識改革（社員教育）や労働環境の改善（安全衛生）を目指すもので、主に現場を指導する「管理職」が主体的に取り組まなければ効果は見込めません。

（裏面につづく）



高士 誠司

次回例会のお知らせ [第2361回・平成31年2月19日（火）]

★皆出席表彰

★お食事はミニ会席料理です。

★卓話予定

★例会場 3階 京都の間

・テーマ：「光源氏のこと」

・卓話者：芦田 耕一 氏（藤岡 靖夫 会員 紹介）

★歴代会長懇談会 13：40～ 3階 奈良の間（歴代会長）

★次週2月12日（火）の例会は休会です。

- ・来客紹介（1月29日） 4名
（2660地区内 2名・地区外 0名・ゲスト 2名）
- ・出席報告

例会回数	第2356回	第2357回	第2358回	第2359回
例会日	1月8日	1月15日	1月22日	1月29日
会員総数	41名	41名	41名	41名
出席免除会員数	14名	14名	14名	14名
欠席会員数 (内、出席免除会員数)	12名 (8名)	14名 (7名)	14名 (7名)	15名 (7名)
出席率	87.87%	79.41%	70.59%	76.47%
修正出席率 (メーキャップ数)	100% (2名)	88.24% (3名)	_____	_____

・ラッキーくじ

賞品名 『デパート商品券』
 賞品提供者 吉岡 康雄 会員
 当選者 藤井 進次 会員
 高士 誠司 会員
 参加者数 16名

・卓話

テーマ「原点回帰」
 卓話者：高士 誠司 会員、岸氏、大隈氏

・その他

事務局の中村さん、2月一杯休みにになります。
 ピアノの仲野さんが代打で来られます。

会員名 ニコニコ事由

小嶋 敦 =18カ年皆出席
 三宅 有 =ラッキーカード当選
 小嶋 敦 =ラッキーカード当選
 田中 和雅 =謹賀新年
 " =明けましておめでとうございます。では、どうぞ良いお年を。
 古市 仁 =テーマが見つかりませんが、ニコニコしときます。
 瀬田川昭俊 =皆様にお久しぶりと言われてます。少しはすかしく、すみません。
 柴崎 秀樹 =大阪国際女子マラソン、沿道から全てのランナーに声援を送ってきました。それぞれの想いを秘めて必死に走る姿に感動して、胸が熱くなりました。
 小山 登 =大坂なおみさん、おめでとう。
 尾下 千明 =寒い日が続きます。インフルもはやっています。皆様お気をつけて！
 岩元 孝樹 =皆様インフルエンザには気をつけましょう。
 竹井三千彦 =統計不正で大臣更迭も有りそうですが、そこで一句「こりゃ駄目だ 根本が全部腐ってる」
 浦野 修明 =阿江さんの顔をみて。
 隅防 嘉之 =S A Aに声をかけられて。
 弓田 浩司 =S A Aに声をかけられて。
 三宅 有 =S A Aに声をかけられて。
 高士 誠司 =卓話当番
 阿江 秀典 =皆様、いつもニコニコありがとうございます。

本日計 25,000円 / 総合計 769,000円
 (目標 1,300,000円)
 ご協力ありがとうございました。

(表面のつづき)

当然、その『方針』を示し、管理職に「業務」として取り組むことを命じることこそ経営者の責務です。「余計な仕事！」と経営者が思ってしまったら社員のモラルは地に落ちます！確実に安全確認を実行することこそすべての基本であり、そのエッセンスが「原点回帰講習」=バック事故防止に詰まっているのです。～すべての業務に通じるのでは！？以下、webページの抜粋をご参照下さい。

■ 原点回帰講習とは

交通事故の原因を考えた場合、下記表の事故原因が考えられます。また、交通事故発生報告書の内容を分析しても下記事故原因が重複・複合することで発生しています。このドライバーのエラーは、基本を理解しておれば防げる事故も多くあるのですが、ドライバー自身は「知っているが、理解していない。」「理解していないから行動できない。」ことから発生しています。この理解できない大きな要素は、自身の車両・運転感覚の検証や見極めができていないことにもあります。車両・運転感覚⇒「過去の運転経験に基づく無意識の判断&行動」ですが、この「判断基準が曖昧」なのです。

原点回帰講習は、まず「自分が運転する車を知る」「自身の車両感覚はあてにならない」「車は急には止まらない」ことを理解していただくための講習です。詳しくは、管理者支援ページ内の「交通事故対策に悩んだら「原点回帰」の体験型講習を！（交通事故形態に対応する事故原因と指導の考え方）」をご覧ください。＊以下ページ内の項目です。ご興味がありましたら是非ご参照下さい。

- ・交通事故対策に悩んだら「原点回帰」の体験型講習を！（交通事故形態に対応する事故原因と指導の考え方）
- ・バック事故と車両感覚 ～車両感覚と原点回帰講習～
- ・運転行動（認知・判断・操作）と原点回帰講習
- ・原点回帰の交通事故対策（対策立案までの考え方 悩んでおられる担当者・新規担当者向け）
- ・■ 管理者・指導者向け 原点回帰講習（乗用車、貨物車、（受講感想等の掲載あり））
- ・貨物車・バス・マイクロバス向け「原点回帰講習」
- ・バック事故防止講習の必要性
- ・バック事故防止講習の必要性Ⅱ（安全確認の第一歩は停まる。）
- ・運転中の「ながらスマホ」に対する指導方法～ スマホ運転の危険性を認識させる指導方法